

ROTARY CLUB OF

**KANAZAWA-NORTH**



**金沢北ロータリークラブ**

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：宗田 市太郎 幹事：平尾 信明

情報委員長：清水 忠

1976・7月29日

**第70号**

## “徳孤ならず、必ず隣りあり”

—京都洛北RCとの提携結実を喜びて—

理事・修練委員 柴田 三郎

1976年7月22日は、創立3周年をやがて迎えんとする金沢北RCにとって、明暗、喜悲の両頂点をゆく忘れられない日となった。その“暗と悲”は、私のロータリーへの歓喜を昌瀆するので、さておき。その“明と喜”はいうまでもなく、京都洛北RCと、われらの友好提携、結実の最良の日となったからである。



洛北さんは、この日大西友二副会長（愛称京都のポールハリス……それ程よく似ている）を始め8人の人々が大挙、心をこめてお越しくださった。いずれも、京都洛北をして「世界唯一のRC」と、かつてのロビンズRI会長を感嘆せしめるまでに僅か2ヵ年で築きあげるに、ブルトナーとなり、“D51”となって驚進し、偉大な索引力となった人々である。

若さが漲っている、意欲に溢れている。「ロータリーの口も知らぬ人達ばかりでスタートして、ただまっしぐらに走り続けた」と、そのお一人、“D51”第1号のニックネーム保持

の初代幹事源田さんは述懐された。さもありません、京都洛北の今日ある秘密は此処にあった。ロータリーは理論ではない。実践であり、実行力いかんであり、その大結合にこそクラブの成果があがるのだ。

金沢北RCは、最高の良縁を得た。が、友好提携は単なる親睦ではない、もちろん遊戯ではない。提携要項の第1条は「相互の親睦を深め、知識の交流と、クラブ活動の積極化のため、相互によき影響を与え合う」。第2条に「謙虚に質実に、形より内容の充実を」と、明示されている。われらは、この初心を忘れないで、提携と喜びの実をいつまでも続けようではありませんか。

この日早朝、大村修練委員長と同行、高岡の宿舎にガバナー田山さんを訪問し、“石川県ロータリー研修会”の自主撤回をお達し、併せて、窮地に立たされたであろうガバナーに真情と表敬の意を披歴した。今日はクラブにてっては、かつてない大きな明暗の日であった……。

「徳孤ならず、必ず隣りあり」と、近頃安積得也先生に訓えられたばかりである。

## 京都洛北RCと友好クラブ提携成る

7月22日(木)午後1時、金沢北ロータリークラブ例会場ホワイトハウスにおいて、両クラブ間の友好クラブ提携式が挙行された。当日は京都洛北RCより大西副会長以下8名の御出席があり、相互に記念品の交換などもまじえ、会場は和やかな歓談の中にも厳しゅうくに提携書の署名が行なわれ、姉妹クラブの誕生をみたのである。表記の如く、姉妹クラブと呼ばず、友好クラブと名付けたのは、特に京都洛北RCからの要請によるもので、海外クラブとの姉妹提携と区別するためである。

ところで、数多くのRCの中から何故に両クラブが提携するに至ったか、極めて興味深いことでもあるので金沢北RC 越野直前会長の経過報告にそれを尋ねることにしよう。

ご報告によれば、5月22日の当クラブ新旧理事会において、宗田新会長より自己の任期中に是非とも何処か適当なクラブと姉妹提携をしたいとの熱烈なる抱負が発表された。これを契機として、その後何回かの会合を重ね、具体的選考に移った。しかし、当初より第一候補にのぼったのが京都洛北RCであったとのことである。そしてその理由として大要、以下の如き諸点が説明されたのである。

1. 京都と金沢とは歴史と伝統のある古い町である。
2. イ) 京都洛北RCの親は京都東RCであり、東RCは山科RCを生んでいる。  
ロ) 金沢北RCの親は金沢東RCであり、東RCは南RCを生んでいる。  
ハ) 山科RCと金沢南RCは姉妹提携しており、京都洛北RCと金沢北RCは親戚関係にある。
3. 金沢北RCの認承状伝達式は昭和49年6月16日であった。この準備のため、事前見学をさせて貰ったのが49年3月17日に行なわれた京都洛北RCの認承状伝達式であった。
4. 京都洛北RCと金沢北RCの規模は同程度で会員数、例会日は共に同じであり、加えて新旧会長の職業分類まで同じである。

以上の如く、全くの偶然とは申せ極めて類似点の多いクラブ同志の結合ということもあり、また金沢北RCから京都洛北RCへのプロポーズに対し、全員一致で賛成するとの御返事もあって、短期間にトントン拍子に話は具体化し今日の提携式に漕ぎつけたとのことである。

今度の提案者であった金沢北RC宗田会長は、喜色満面にたたえ笑いのある暖みのある結合のあるロータリー活動を、会員相互の身近な親睦を通して、ロータリーの目標達成に邁進しようではないかと挨拶された。また御臨席の石川県第一分区代理上田正二氏は、結婚になぞらえて結婚には三つの条件が必要であると前置きし、当事者相互の理解と信頼をもととし深い愛情に支えられた結婚こそ周囲の暖い祝福を受けるに価いするのだと強調し、今回の提携に心からの賛辞をおくられた。

京都洛北RCと金沢北RCとの姉妹提携はかくて無事挙行されたが、結ばれるべくして結ばれた奇しき御縁を胸に今日の感激を忘れることなく末永く深く友情で結ばれる為には、一人一人の心と心の交わりの必要性が強く望まれるのである。 (文責 松本)

### 友好クラブ提携要綱

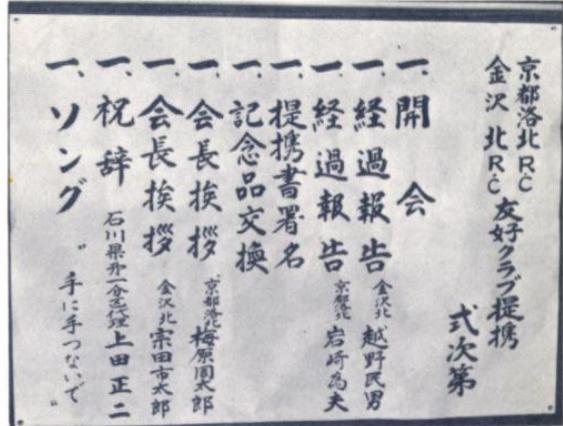
1. 京都洛北ロータリークラブと、金沢北ロータリークラブは、相互の親睦を深め、知識の交流と、クラブ活動の積極化のため、相互によき影響を与え合うことを目的とする。
2. 目的の達成と永続のため相互に努力することとし、謙虚に質実に、形より内容の充実を旨とする。
3. 提携の実をあげるため、次の事項を行う。
  - A. 会報、年次要覧、名簿、ガバナー月信及びその他、文献、情報の交換。
  - B. 双方のメイクアップを奨励する。
  - C. 主要な行事には相互に招待する。
  - D. 会員、家族のため親睦会、同好会を相互に開催する。
  - E. その他必要に応じ相互協力をする。

# “奉仕” ロータリーを私は信奉する



京都洛北ロータリークラブ 友好クラブ提携式  
金沢北ロータリークラブ

宗田会長と大西副会長提携書に署名

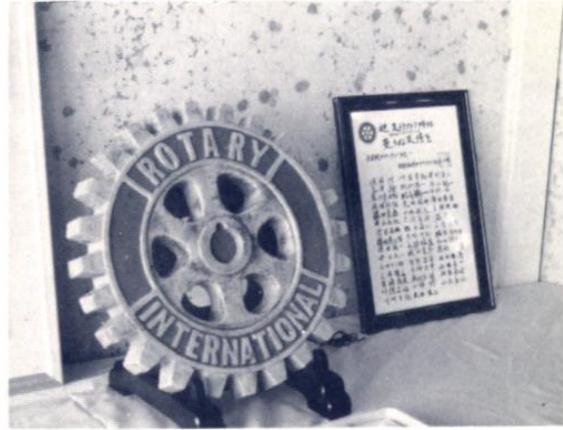


盛大に順序よく提携式が行なわれる



京都洛北ロータリークラブ 友好クラブ提携式  
金沢北ロータリークラブ

越野友好委員長の経過報告

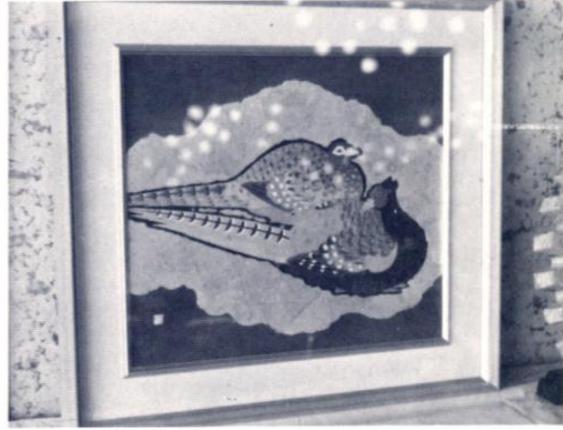


京都洛北クラブより辻勸之会員の作品を受領



京都洛北ロータリークラブ 友好クラブ提携式  
金沢北ロータリークラブ

宗田会長喜びの挨拶



水野会員の作品を京都洛北クラブへ記念贈呈

## 京都洛北RCを交えて クラブ協議会開催

友好クラブ提携の調印式を無事終えた京都洛北RCとのクラブ協議会は7月22日例会終了後、洛北クラブより8名、金沢北クラブから13名が出席して開催された。

まず当クラブ制作「心のふるさと金沢北」のスライドを上映、金沢北クラブのテリトリーを紹介し、自己紹介のあと平尾幹事の司会により協議に入った。

会員増強や例会の出席について、又ニコニコボックスのあり方に関して和やかなうちにも活発な意見の交換があり当クラブとしても大いに参考にすべき内容であった。

終りに今後、合同例会、親睦会を含め友好クラブとしての絆を深めて歩んでいく事を誓い合っただけでなく、合同のクラブ協議会を終了した。



